

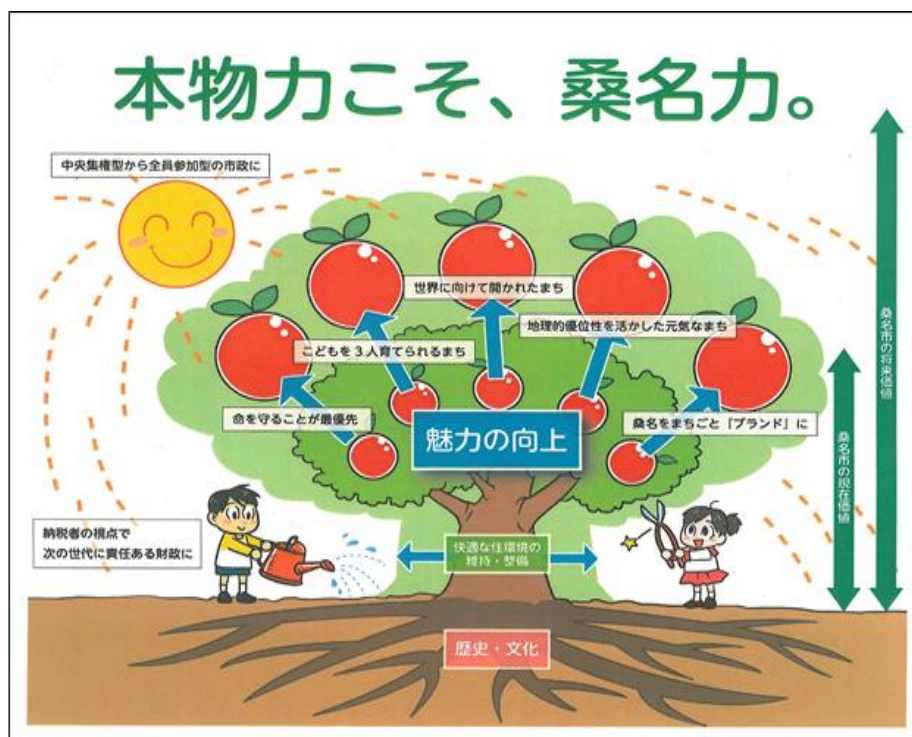
持続可能なまちづくりに向けて

総合計画における行財政改革・・・

- ⇒桑名市の総合計画は、行政改革大綱を計画の中に位置付け、行財政改革とあわせて取り組む計画としています。
- ⇒行政の経営資源である「ヒト」「モノ」「カネ」を効率的・効果的に活用することを基本に、民間のアイデアや経営資源を積極的に活用する「公民連携」の考え方を取り入れ、目指す姿を実現するために行財政運営を進めてきました。
- ⇒現在も社会情勢は刻々と変化し、新しい課題や市民ニーズが多様化する一方、AIやRPAなどの情報技術も登場しています。
- ⇒加えて、with・afterコロナ時代に向けた行政の転換と捉え、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するため「桑名市デジタルファースト宣言」を行い、また2050年を見据えた「桑名市ゼロカーボンシティ」の実現に向け、誰ひとり取り残さない、持続可能なまちづくりを推進する取り組みが必要となります。

持続可能なまちづくりの実現に向けて

このような背景の中、「持続可能なまちづくりの実現に向けて」、どのように取り組んでいくべきか、行政改革推進委員の皆さま「意見交換」や「今後の方向性」など、前向きなご提案をお願いいたします。



【桑名市総合計画より】